

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公表番号】特表2018-515100(P2018-515100A)

【公表日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2017-559040(P2017-559040)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/6848 (2018.01)

【F I】

C 12 Q 1/6848 Z N A Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月8日(2019.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

核酸増幅反応におけるサンプル阻害を排除するための水性組成物であって、複数の酸化ジルコニウム粒子と、

0.005% (質量/体積) 以上の濃度の非イオン性界面活性剤と、有機鉄キレート剤と、を含有し、

前記組成物は、約8.45~8.85のpHを有し、

前記有機鉄キレート剤は、第二鉄に対し $10^{-4} \sim 10^{-2}$ 以上の第1のアフィニティ定数と、マグネシウムに対し $10^{-3} \sim 10^{-8}$ 未満の第2のアフィニティ定数と、を有し、前記第1のアフィニティ定数及び前記第2のアフィニティ定数は、20°CにてpH 8.45の脱イオン水中で測定される、水性組成物。

【請求項2】

前記複数の粒子が、100nm以下の平均粒子径を有する、請求項1に記載の水性組成物。

【請求項3】

前記有機鉄キレート剤が複数のカルボキシレート基を含む、請求項1又は2に記載の水性組成物。

【請求項4】

第二鉄を更に含有する、請求項1~3のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項5】

ナノ粒子分散安定剤を更に含有する、請求項1~4のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項6】

前記非イオン性界面活性剤が、約11~約16の親水性?親油性バランスを有する、請求項1~5のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項7】

ポリビニルピロリドンを更に含有する、請求項1~6のいずれか一項に記載の水性組成物。

【請求項8】

指示染料を更に含有する、請求項1~7のいずれか一項に記載の水性組成物。

**【請求項 9】**

a ) 複数の酸化ジルコニウム粒子と、非イオン性界面活性剤と、エチレングリコール四酢酸（E G T A）の一価の塩と、を含み、約8 . 4 5 ~ 8 . 8 5 のp Hを有する組成物を、対象とするサンプルと接触させて、水性混合物を形成する工程と、

b ) 工程a ) の水性混合物を熱による溶菌プロセスにかける工程と、

c ) 工程b ) の後で、前記水性混合物の一部を核酸增幅プロセスにかける工程と、を含む、核酸増幅方法。

**【請求項 10】**

複数の酸化ジルコニウム粒子と、

非イオン性界面活性剤と、

有機鉄キレート剤と、を含有する、キットであって、

前記有機鉄キレート剤は、第二鉄に対し $10^{-4} \sim 2$ 以上の第1のアフィニティ定数と、マグネシウムに対し $10^{-3} \sim 8$ 未満の第2のアフィニティ定数と、を有し、前記第1のアフィニティ定数及び前記第2のアフィニティ定数は、20°Cにてp H 8 . 4 5 の脱イオン水中で測定される、キット。